

社会福祉法人の 地域貢献

第13回

社会福祉法人は、福祉サービスの利用者だけでなく、地域に暮らす人びとの「生きる」を支えています。社会福祉事業にとどまらない、地域のニーズに応える取り組みを紹介します。

社会福祉法人 長和会

社会福祉法人南島原市社会福祉協議会と一緒に有家町新切地区6自治会の65歳以上の高齢者を対象にした買い物支援バスを運行しています。



「出かける楽しみ」でもあるお買い物バス

令和2年8月にスタートしたこの取組の概要や事業に取り組むことになったきっかけ、地域住民の声などについて、社会福祉法人長和会特別養護老人ホーム有宝荘の長池施設長にお話を伺いました。

● 取組の概要

デイサービスの送迎車の空き時間を利用して、第1、3火曜日、第1〜4木曜日に買い物支援バスを運行しています。イオン有家店・Aコープ有家店で約2時間の買い物時間を確保してご自宅近くから店舗まで送りするルートで運行しています。

● 取り組むきっかけと狙い

社会福祉法人長和会は、昭和55年に長崎県から認可をいただき、40年以上地域の方々に支えられながら特別養護老人ホーム有宝荘を運営してきました。

昨今では、社会福祉法人の地域貢献活動の必要性が求められる中、「地元へ貢献したい」、「地域のニーズに沿った活動をしたい」と考えていたところ、南島原市社会福祉協議会様から令和元年12月末に「地域住民の生活を支えていた地元の商店が閉店となり、買い物支援のニーズが高まっている。買い物支援バスを運行できないか」という提案を受け、取り組むことになりました。

● 地域住民の声

当初の説明会での声

「50年以上前にこの新切地区に嫁いできました。これからも家族や友人とここで一緒に暮らししていきたいと考えているので、バスの運行は本当にありがたいです。」

「買い物支援は、本当にこの地域に必要だから、多くの方にぜひ利用していただきたいです。」

現在、買い物支援バスを利用されている方の声

「子供も親戚も近くに住んでいないので、外出できること、買い物に連れて行ってもらえることがとても嬉しいです。」(80代男性)

「バスの中では、お買い物得品の話や世間話で盛り上がり、出かけるのが楽しみになりました。買い物支援バスをきっかけに生活の中に楽しみが増えました。」(70代女性)

● 関わっている職員の想い、これからの展望

この買い物支援は、バスを利用できるようにするため一人暮らしの方や高齢夫婦を車に乗せてバスの停留所まで連れて来てくださる住民（民生委員・児童委員）もいらっしやっつて、地域での助け合いが実現した取り組みとなりました。

今回のように、高齢者が地域の中で生きがいを持って暮らしていけるようにコーディネートしていくことが社会福祉法人の役割の一つだと思っています。

近くにこの施設（法人）があつて良かったと思っていただけに、今後も社会貢献のあり方を考えていきたいと思えます。

関連情報はこちらから
社会福祉法人 長和会
ホームページ

